

中央委員

- 村井小之助 (向上會)
  - 村田宗次郎 (同志會)
  - 浜橋文作 (左)
  - 重佐權助 (左)
  - 川内保 (左)
  - 渡辺善壽 (東京官業)
  - 長瀬繁太郎 (向上會)
  - 大平菫三郎 (革正會)
- (大阪煙草組合廿未定)

會計監査

- 樋口守基 吉良勝人 藤田勘十郎
- 宮地熊造 藤岡某 北川某

西浦委員長新任の挨拶をふし午後三時閉會。

宣言

官業労働総同盟第九回大會は過去九年に亘る経験に鑑み今後運動方針に就きたる如く宣言する。

今や日本の労働運動は思想的啓蒙運動の域を脱して量的に戰的に労働組合自身の基礎を固むる事に全力を集中するべき時機に到達したることを痛感する。何と云へば労働者諸君は實際生活を改善する方面に對する労働組合の突効力切實に要望してゐる。吾等は労働者諸君此の切實なる要望に應ずるには従來の如き多面的運動を排して労働組合本末の優劣運動を集中せねばならぬ。是れは唯に労働者諸君の要望に應ずるのみならず實に労働組合自身の基礎を確立する所以である。以上の意味に於て吾等は官業労働者諸君の生活を改善する各省職工規則工場規定共済組合等の改善運動に全力を集中する。更に吾等は未組織官業労働者の組織本同盟組織の完成全官業労働総聯合の實現等に努力し以て力の絶大を圖ると共に組合員の政治的自覺に對應し地方的或は全國的現實に立脚した大衆政黨を支持し以て政治運動に依る労働階級の解放を期するものであることを要する。吾等は労働者諸君の労働組合に對する信頼を獲得するに全力を集中し以て本同盟の基礎を築きかんとするものである。